

2015年12月6日 待降節第2主日

福音書 ルカ 3:1-6

第1の日課 マラキ 3:1-3

第2の日課 フィリピ 1:3-11

<p>★今週の聖句 「主の道を整え、その道筋をまっすぐにせよ」ルカ 3:4</p>

★ねらい

- ・「道」とは、人間の生き方、日々のあり方などを指し示す言葉。
- ・もともとは、神さまのみ前で振り返り（悔い改め）を語りかける聖書。
- ・聖書は私たちに、クリスマス前に改めて自身の日々を改めることを語る。
- ・年末（クリスマス前、終園、終業式前）に、二学期を振り返るときを共有したい。

★説教作成のヒント

- ・前半部分の人名の並列は読みづらいかもしれませんが。しかしこれは、クリスマスが歴史的な流れの中で起こったということの、ルカ福音書なりの説明です。
- ・後半部分の「イザヤの書」からの引用。山や谷や丘、曲がった道などは、人間の心と言い換えうることが出来るでしょう。山のような高ぶる心、谷のような悲しむ心、ふらふらと行方知れずの曲がった道など、絵にしたら分かり良いかもしれませんが。クリスマス前で忙しいでしょうが、「でこぼこの」心が整えられることを絵にしたら、子どもたちもきっと目を輝かせて注目するでしょう。

★豆知識

- ・ザカリアの子ヨハネ（2節）とは、イエスさまのご親類。

★説教

もうすぐ二学期も終わりです。二学期もいろいろなことがありました。先生の子どもは、【例えば：小学生は勉強や運動会で頑張りました。幼稚園の子どもは、たまに幼稚園に行きたくないな、お家で遊んでいたいなという時もありましたが、頑張りました。小さな子どもはお家でいたずらを一杯しました 等など】。

今週の聖句は「主の道を整える」です。これは、神さまとの道がどんなかな、ということ振り返るときです。また、みんなの二学期がどんなだったかな、ということも振り返ることを言います。二学期の楽しかったことを思い出して見ましょう。そして、悲しかったこと、悔しかったことなども思い出して見ましょう。

楽しかったことは、先生やお友達とのことかもしれません。でもそれは、先生やお友達を通して神さまがあなた方に下さったものです。そして、悲しく、悔しいことがあっても、神さまはあなた方といつも一緒です。神さまは、楽しい時にも悲しい時にも、いつも一緒に居てくれます。そのことを覚えてほしいです。

分級への展開

さんびしよう

*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

□109番 「ふねがきます」

□改訂版65番（1，4） 「主を待ち望むアヴェント」

やってみよう

☆クリスマスツリーをつくろう

<用意する物>

色画用紙（緑色20cm×15cm）ハサミ

色画用紙(緑色)を2枚、用意します。（20cm×15cm）

10cm×15cmになるように折ります。

クリスマスツリー型を書いて切ります。

真ん中を一枚は上から半分、もう一枚は下から半分に切ります。

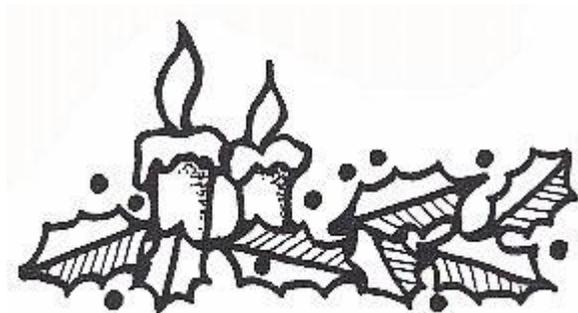
2枚を組み合わせて出来上がりです。

はなそう

□皇帝ティベリウス治世第15年って何年前？その時の世界や日本ではどんな時代だった？

□ヨハネは何のために道を備えよと言ったの？

□もし来週イエスさまが教会に来ると言ったら、みんなはどんな準備をする？



2015年12月13日 待降節第3主日

福音書 ルカ 1:26—38

第1の日課 サムエル下 7:8—16

第2の日課 ローマ 16:25—27

★今週の聖句 「お言葉どおり、この身に成りますように」 ルカ 1:38

★ねらい

- ・すべてのことを、神さまからのプレゼントとして受け入れることを語ります。
- ・子どもは「受け入れる」ことの達人です。大人になるにつれ、下手になります
- ・しかし、神さまは決して私たちに悪いことはなさいません。
- ・神さまの下さるものは、いつでも素晴らしいものだ、ということを伝えたい

★説教作成のヒント

- ・幼稚園、保育園、教会学校の聖誕劇では、一つのハイライトでありましょう。
- ・劇のマリアは可愛らしくとも、実際のマリアは激しい混乱、困惑にありました
- ・その中で、「神さまのなさること」に徹底した信頼を寄せたのがマリアです。
- ・マリアの「頑張った姿」と共に「神さまは決して悪はなさらない」と語りたい。

★豆知識

- ・Beatles 「let it be」邦訳すると「お言葉通りこの身になりますように。」
- ・「let it be」の原詩には、「Mother Mary」主の母マリア、が登場します。

★説教

幼稚園、保育園、小学校などで困ってしまったことがあると思います。先生の子どもは、【例えば小学生：忘れ物が多くて困っている。幼稚園：給食が食べられなくて困っている。いじわるな男の子に困っている。小さな子：お父さんが怖くて困っている、等々】です。今日のお話は、「困ってしまった」人の話です。

なんと、今日はイエスさまのお母さん、マリアさんが出てきます。でも、聖書のマリアさんは、実はとっても困ってしまっていたのです。少し前に天使さんが出てきて、赤ちゃんイエスさまがいるよ、と言われました。でも、マリアさんはヨセフさんとまだ結婚式をしていませんでした。ヨセフさんと結婚式をしていないのに、赤ちゃんイエスさまがいる、どうしようかと困ってしまっていたのです。

でも天使さんはこう言います「神さまに、出来ないことはありません」と。こ

の言葉がマリアさんを頑張らせたのです。神さまは、困ったことがあってもかならず助けて下さる、わたしのことも助けて下さる。だから大丈夫と。そしてマリアさんは、お腹の中で赤ちゃんイエスさまを育てるのです。神さまは、あなた方のことも必ず助けてくださいます。困ったことがあっても、大丈夫なのですよ。

分級への展開

さんびしよう

*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

□119番 「やさしいめが」

□改訂版50番 「ヨセフの許嫁（いいなずけ）」

やってみよう

☆クリスマス迷路をつくろう

・用意する物紙、鉛筆

クリスマスに関するもの（天使、星、羊、クリスマスツリー、ろうそくなど）を
通ってゴールする迷路を作ってみましょう。

出来上がったら皆で、迷路で遊んでみましょう

はなそう

□「お言葉どおり…」とマリアは言ったけれど、どんな気持ちで言ったのかなあ？
嬉しい？悲しい？やけくそ？考えてみよう！

□すべてを誰かに任せたとある？もし任せるならどんな時だろう？マリアのその時の状況と比べてみよう！まわりの大人にもすべてを誰かに任せたとあるか聞いてみよう！



2015年12月20日 待降節第4主日

福音書 ルカ 1:39—45

第1の日課 ミカ 5:1—4a

第2の日課 ヘブライ 10:5—10

★今週の聖句

「主がおっしゃったことは必ず実現すると信じた方は、なんと幸いですでしょう」

ルカ 1:45

★ねらい

- ・助け合い、言葉をかけあう友や仲間存在の大切さ、ありがたさを覚えたい。
- ・マリアとエリザベトは親類であり、そして妊娠中のいわば「ママ友」。
- ・「祝福」とは、聖書の中で、新たな局面や苦しい時に与えられるもの。
- ・エリザベトはマリアに「祝福されている」と告げる。神さまの守りの宣言。

★説教作成のヒント

・この時のエリザベトは、子どもが与えられて6か月の時期です。いわば安定期です。一方マリアは妊娠初期。身体的にも不安定ですし、特にマリアの場合は未婚の妊娠、神の子の妊娠、天使の来訪という「常識外の出来事」が立て続いた時期でした。そのマリアの不安な精神状況を、エリザベトは年長者として優しく励まし、包み込もうとするのです。マリアとエリザベトは「ママ友」であると同時に、人生の後輩（マリア）先輩（エリザベト）でもあったのです。

★豆知識

- ・良く聞く「アヴェ・マリア」の歌詞の前半は、この聖書から取られています。
- ・美しいメロディと共に、歌詞（ただしラテン語ですが）をご覧くださいませ。

★説教

友だちは本当に大切なものです。【例えば、先生にもお友だちがいます。同い年のおじさんですけれど、一緒にご飯を食べたり歌を歌ったり。悲しいことがあったとき、友だちに話します。友だちは話をちゃんと聞いてくれて、頑張ってねとか、大丈夫だよとかと言ってくれます。等々】。みんなの友だちはどんなかな？

イエスさまのお母さん、マリアさんにもお友だちがいました。エリザベトと言います。その頃マリアさんは、少し心配なことがありました。赤ちゃんイエスさまを守っていけるかな、元気に育つかなということです。心配になったマリアさ

んは、お友だちのエリザベトさん、遠くに住んでいましたが、出かけたのです。

エリザベトさんは、マリアさんに「神さまが祝福してくださる、守ってくださいよ」と伝えます。お友だちとして、エリザベトさんはマリアさんに優しい言葉をかけます。そして何よりも「神さまが守ってください」は大事です。神さまは、お友だち以上に、あなた方のことをこれからも守って下さる素晴らしいお方です。

分級への展開

さんびしよう

*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

□1 2 3 番 「かなしいときにも」

□改訂版 6 5 番（1-4） 「主を待ち望むアヴェント」

やってみよう

☆クリスマスカードをつくろう

<用意するもの>

色画用紙、鉛筆、ハサミ

暗闇を照らすろうそくの形のカードを作ります。

色画用紙をろうそくの形に切ります。イエス様の誕生日であるクリスマスに、私たちにも出来る良い事を考えてカードに書きましょう。

はなそう

□お腹の中に赤ちゃんがいるってどんな気分だろう？3キロのおもりをお腹に入れて歩いたり座ったりしてみる。

□主の言葉が実現したこと(自分の考えや希望ではなく、神様だったらこう考えるかなあ？こうするかなあ？ということ実際に起こったことある?)その時の話しを聞かせて。

2015年12月25日 降誕日

福音書 ヨハネ 1:1-14

第1の日課 イザヤ 52:7-10

第2の日課 ヘブライ 1:1-9

★今週の聖句 「言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。」ヨハネ 1:14

★ねらい

- ・長い間待ち望まれて来た救い主が、イエスさまとして現れたのがクリスマス
- ・暗さ、闇、困難という状況に生きる人への光を、クリスマスは意図している。

・福音書を語る「ヨハネ」も、そのような状況の中で福音を語った人物

★説教作成のヒント

・クリスマスがイエスさまのお誕生日という理解は、いろいろと意見があることですが、それは本質的な話ということはないと思います。私たちは、クリスマスに何が起こったか、何が私たちのためになされたか、ということ語りたい。

・福音書を執筆したヨハネという人物についても、いろいろと考え方がありますが、これも上記と同様に考えて、このヨハネが語ることを見逃さないようにしたい。ヨハネが「光は暗闇の中で輝いている」と4節で語ることを使信としたい。

・聖句の「言」とは神さまのこと。「肉」とは、人間の形を取ったということ。「私たち」とは、これを読むあなたや、話を聞く子どもたちや、今この時も困難や不条理に立ちすくむすべての人たちの「間」、ということを意味しています。

★豆知識

・クリスマスとは、「キリスト（救い主）」＋「ミサ（礼拝）」の複合語。

・赤ちゃんイエスさまを礼拝した博士たちや、羊飼いたちの姿を想起します

★説教

クリスマス、おめでとうございます。皆さんは、実に素晴らしいクリスマスを迎えられたかもしれません。ごちそう、プレゼント、ゲームなど、楽しいことを数えたらきりがありませんね。でも今日はちょっと、昔の話を聞いてください。

今から70年前、世界中が戦争をしていました。「夜と霧」という本からの話です。ユダヤの人たちが、ナチスという軍隊に無理やり捕まえられて、一つ所で暮らすことを命令されていました。「クリスマスになったら、家に帰れるかもしれない」と、捕まえられているユダヤの人たちがうわさし合いました。でも、クリスマスが来ても、ユダヤの人たちは、無理やり捕まえられたままでした。苦しく、悲しいことが、その場所でたくさん行われました。大勢の人が、いじめられました。

クリスマスは、今私たちにとって、とても楽しい時です。でも覚えて欲しいのは、楽しくなくても、悲しいことがあっても、クリスマスは来るのです。イエスさまは、私たちのすぐそばにいてくださいます。大きくなって寂しいことがあったら、今日の聖書を思い出してください。イエスさまは、私たちのそばにいます。

分級への展開

さんびしよう

*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

□23番 「そらにひびくかねが」

□改訂版75番 「聞け天使の歌」

はなそう

□行動で言葉を実現してみよう！簡単な言葉から聖書の言葉などを使ってジェスチャーゲームをしてみる。後で、難しかったか？伝わった時どう思ったか？など、振り返る。

□聖書の言葉が今の世界で実現するって、どうなることだろう？イエス誕生の預言の言葉をあげて考えてみよう。



2015年12月27日 降誕後主日

福音書 ルカ 2：25—40

第1の日課 エレミヤ 31：10—14

第2の日課 ヘブライ 2：10—18

★今週の聖句 「わたしはこの目であなたの救いを見たからです」 ルカ 2:30

★ねらい

- ・二人の年長者（いわゆる高齢者）が、イエスさまの姿に安心を与えられた箇所
- ・様々な家庭的、社会的背景を持つ子どもたちに「無条件の肯定」を伝えたい
- ・神さまは、教会の全ての方々と共に、幼子を無条件で喜ばれるのだから。

★説教作成のヒント

・シメオン、アンナという二人の人物が登場します。記載によればアンナは 84 歳、シメオンの年齢は記載されていませんが、かなりの年齢と察することが出来ます。二人の心に共通するものは、「イエスさまと出会えてうれしい」ということでした。これを読むあなたにとって「イエスさまと出会う」あるいは、イエス

さまを伝える幼稚園、保育園、教会学校、教会との出会いはどのようなものでしょうか。そしてそれが今のあなたにとって、どのような感情でしょう。

★豆知識

- ・この時イエスさまは、生まれて 40 日ほど経った頃でした。
- ・「ヌンク・ディミティス」の歌詞は、この聖書から取られています。
- ・礼拝式文の「典礼歌」の中で、この歌が私の属する地区では大人気です。

★説教

身近なおじいさん、おばあさんの話。例えば【私の子どものおじいさん、おばあさんは遠くにいます。東京と三重です。どちらも山口県からは遠くです。でも近くに「おもちゃのおじいさん」が住んでいます。子どもたちに、いつも何かのおもちゃをくれるのです。そのおじいさんにとって、子どもたちは本当にかわいいのでしょうか、等々】。今日の聖書にも、おじいさん、おばあさんが出てきます。

シメオンというおじいさん。このおじいさんは、赤ちゃんイエスさまと会いました。おもちゃはなかったのですが、赤ちゃんイエスさまを抱っこして、神さまに「ありがとう」と言ったのです。それほどイエスさまと出会えて嬉しかったのです。アンナというおばあさん。このおばあさんもイエスさまと出会えて、神さまに「ありがとう」と言ったのです。イエスさまと会えることは嬉しいのです。

教会のおじいさん、おばあさん（園長先生や諸先生）は、いつも皆さんと会えて嬉しいです。神さま、イエスさまも皆さんと教会で会えることを嬉しく思っていますよ。あなたがたは、ここに居るだけで、神さまと人が喜ぶのですよ。

分級への展開

さんびしよう

*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

□26番 「いざうたえ」

□改訂版70番 「いざ歌え、いざ祝え」

やってみよう

☆カルタをつくろう

<用意するもの>画用紙（5cm×5cm）、色鉛筆、サインペン

もうすぐ新年がやってきます。みんなでカルタを作ってみましょう。

画用紙（5cm×5cm）を用意して、絵札と読み札を作ります。

みんなで考えると面白いカルタができます。

できたカルタはその場で遊んでもいいですし、来年（来週）のお楽しみにしても

いいですね！

はなそう

□将来の夢や希望はありますか？

□これまでに叶った夢や希望はありますか？